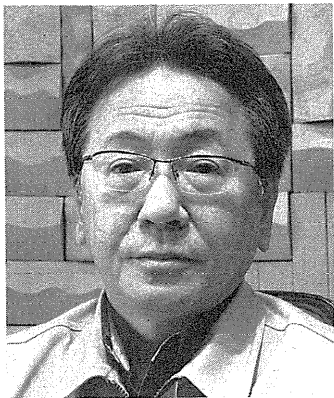


# 地区団体トップに聞く

中国地区ではホテルや工場の新設、広島市や岡山市の中心部で再開発など大型建築工事が続いている。2019年も堅調な鉄骨需要が見込まれる。鉄骨業界の事業環境、今後の見通しや取り組みなどについて、全国鉄構工業協会の山本泰徳・中国支部長（ステントス社長）に聞いた。

## 全国鉄構工業協会 中国支部 山本泰徳支部長

「18年を振り返って。フアブリケーターは1年を通じて忙しく、工場の稼働率も高かった。全国的に鉄骨の加工量が大幅に増加しているというより、物件の大型化が進んでいる。関東や関西向けなど県外案件が多く、大手フアブリケーターやその協力をしている



「19年は18年と変わらず、全体としては良い事業環境が続くだろう

# 環境良い間に人材対策

「19年は18年と変わらず、全体としては良い事業環境が続くだろう

う。鉄骨相場は強横はいい、高い価格水準を維持。現時点で手持ちの仕舞量は日グレードで7カ月から1年分、Mグレードで3カ月から6カ月分、RやIグレードでも2カ月から4カ月分を確保している。上位グレードからの仕事を受け

ていかなければならぬ。高い価格水準を維持。現時点で手持ちの仕舞量は日グレードで7カ月から1年分、Mグレードで3カ月から6カ月分、RやIグレードでも2カ月から4カ月分を確保している。上位グレードからの仕事を受け

「19年は18年と変わらず、全体としては良い事業環境が続くだろう

「19年は18年と変わらず、全体としては良い事業環境が続くだろう

「19年は18年と変わらず、全体としては良い事業環境が続くだろう

「19年は18年と変わらず、全体としては良い事業環境が続くだろう

「19年は18年と変わらず、全体としては良い事業環境が続くだろう

「19年は18年と変わらず、全体としては良い事業環境が続くだろう

「19年は18年と変わらず、全体としては良い事業環境が続くだろう

「19年は18年と変わらず、全体としては良い事業環境が続くだろう